

# 第48回関東少年アイスホッケー選手権大会

## 新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

本大会における感染対策は必ずしも万全ではありません。感染対策については各チーム（家族を含めて）の協力が必要です。それぞれで責任をもって対応してください。

### 【観戦者ガイドライン】

- ① 観戦者は、選手の家族とします。
- ② 観戦者は、観戦予定者名簿一覧を、入場時に入口（細尾は休憩室）で受付（栃木県 IH 連盟）に提出してください。※名簿に記載されていない方の入場はできません。各チームの代表の方が責任をもって入場前に確認してください。（※名簿は、各チームで用意してください。書式は問いません。）
- ③ 霧降と細尾の2会場で競技する予定のチームは、名簿を2部準備し、各会場ごとに提出してください。観戦者の入場は、前の試合終了後（前の試合の観戦者が出てから）から可能とします。観戦者は、各リンク入口から入場し2階席へ上がって観戦してください。

★入場口・観戦場所 霧降：大会関係者入口（ロータリー前）から入場し、消毒、書類の提出。

右手階段を上がり、2階観客席（選手ベンチ側の決められた場所）で観戦。

細尾：正面入り口から入場し、消毒、休憩室へ書類の提出。

階段を上がり、2階観客席で観戦。 ※会場図を参照

- ④ 観戦者は、リンク内に入室後は、選手、スタッフ、競技役員と接触をしないよう注意してください。細尾ドームリンクのトイレは、選手、スタッフ、オフィシャル、観戦者が同じトイレを使用することになりますが、できる限り選手、スタッフと接触しないように注意してください。使用後は速やかに各自の定められたエリアに戻ってください。
- ⑤ 決められたブロック（霧降はテープ等で区画された場所、細尾は2F 観戦席）でマスクを常時着用して観戦してください。3密を避けるとともに、声を出しての応援はお控えください。 ※会場図参照
- ⑥ 観戦後は、各チームで椅子、手すりを消毒してください。（消毒液、除菌シート等は各チームで持参してください。）
- ⑦ 試合終了後、速やかに退場してください。（※退場していただかないと、次の試合の観戦者が入場できません。）
- ⑧ オフシャル担当者（栃木県代表チーム保護者）は、感染対策（検温、消毒、マスクの着用）を各自行ってください。また、担当者以外は、オフィシャル席に入れません。
- ⑨ リンク内では、飲み物以外の飲食は不可とします。（リンク外での飲食は可能です。※ごみは持ち帰ってください。）

※入退場時間に関して、栃木県 IH 連盟スタッフができる範囲で対応いたしますが、各チームでルールを徹底して行動してください。入退場の際は、チームでまとまって行動してください。ルールが守れないチームは、観戦できなくなります。

### 【選手・スタッフガイドライン】

- ① 選手・スタッフは、入場時に入口（細尾は休憩室）で受付（栃木県 IH 連盟）し、消毒して控室に入ってください。名簿提出の必要はありません。

★入場口 霧降：大会関係者入口（ロータリー前）から入場し、消毒をして控室へ。

1階右側を通り、選手控室へ

細尾：正面入り口から入場し、消毒、休憩室へ声かけ、控室へ。

- ② 体調を確認し、少しでも体調の悪い選手・スタッフは参加させないでください。
- ③ 家族や身近に感染が疑われる人がいる場合は参加させないでください。
- ④ 選手・スタッフのリンク内への入場は、各会場の第1試合に当たっているチームは、練習開始45分前から入場が可能となります。次の試合からは、前の試合の第1P終了後から入場可能とします。  
**※入場の際は、必ず1P終了後にチームごとにまとまって入場してください。細尾に関しましては、チームスタッフの代表の方が、休憩室の役員（栃木県IH連盟）に一声かけてから入場してください。**
- ⑤ 他チームの選手と試合以外では接触しないよう注意してください。
- ⑥ 選手は、試合中はマスクを外してよいが、それ以外はマスクを着用してください。**※スタッフは、常時マスクを着用してください。**
- ⑦ 選手・スタッフは、2階席へは上がらないでください。
- ⑧ 控室を使用する際は、ドアの開放等、換気を心がけてください。また、試合前や整氷中のミーティングの際は、次のことを守ってください。

**★マスクを着用する      ★選手同士の距離を空ける      ★大声を出さない**

- ⑨ 試合終了後のミーティングは、退場後に屋外で行ってください。
- ⑩ 試合終了後は、速やかに退場の準備をしてください。
- ⑪ 試合終了後、選手ベンチ、ベンチ内の触ったフェンス、控室の椅子やドアノブを各チームの責任のもとで消毒してください。  
**※選手ベンチ、控室等の消毒に関しましては、保護者の方のご協力をお願いしたいと思います。感染対策としまして、選手、監督・コーチが退出してから消毒作業を行ってください。（選手、監督・コーチとの接触を避けるため。）**  
**※消毒作業は、次の試合の練習に間に合うよう、整氷中に選手ベンチから先に行ってください。**
- ⑫ 大会前、大会期間中にチーム内から数名の発熱者が発生した場合、主催者との協議の上、大会棄権もあり得ることを理解し、普段の生活に細心の注意を払ってください。
- ⑬ 大会期間中、エントリー者の中から陽性者が確認された場合、当該チームは棄権とし、0-15の結果とします。

### 【試合中の選手・スタッフガイドライン】

- ① 試合前、試合後のブルーライン整列は、最低1mの距離をとって整列してください。
- ② 選手・スタッフは、ベンチ内で大声を出さないでください。
- ③ ベンチ内の選手は、交代選手（次のセット）を除き、座ってください。
- ④ 試合終了後、ブルーライン上でのあいさつ後は、直ちにリンクアウトしてください。（レフェリーや相手ベンチ・選手へのあいさつは行いません。**※各チームの応援席への挨拶は自由としますが、速やかに行ってください。**）
- ⑤ 得点を決めたり、試合に勝利したりした際に、できる限り抱きあったり、集団で密集したりしないでください。
- ⑥ 水分補給をする際、各自のボトルを用意し、回し飲みをしないようにしてください。
- ⑦ 各ピリオド間（整氷なし）のミーティングは、プレイヤーズベンチで行ってください。
- ⑧ ペナルティーベンチでは、選手同士の距離を空け、会話をせず、ペナルティー残り30秒までは座って待つようにしてください。（**※ヘルメットは外さない。大声を出さない。**）

## 【競技役員ガイドライン】

○競技役員は、日頃から体調管理に努め、大会当日は、入場口で消毒を行ってから入場してください。

★入場口 霧降：レフェリー室前通用口から入場し、消毒をして競技役員室（レフェリー室）へ入室してください。

細尾：事務室横（ザンボニー通用口横）から入場し、レフェリー室、または、オフィシャル室にて消毒を行ってください。

○リンク内では、必ずマスクを着用してください。

○観客や選手・スタッフとの接触は、できる限り控えてください。

○競技役員室、レフェリー室及びオフィシャル室は常に換気に心がけてください。

○体調不良を感じたたら、無理をせずオフィシャル担当主任（または GSV）に申し出てリンクアウトするようにしましょう。

○感染症対策は、各自で責任をもって行い、競技役員の中から感染者を出さないように注意しましょう。

○感染症対策としまして、オフィシャル室への入室は、基本的に競技役員とします。また、レフェリー室への入室は基本的にレフェリー関係者とします。関係者以外が入室する際は、短時間とします。協議や相談が必要な時は、部屋の外で行うようにしましょう。

○手袋やフェイスシールドを用意しますので、必要な方はご使用ください。

○感染した場合は、速やかに栃木県アイスホッケー連盟事務局に連絡してください。

携帯番号：080-5893-0414（伊藤）